



すみずみで守る、
を主流に。
とこよりつづいて流域をまもるとともに

令和7年5月16日14時00分
近畿地方整備局
奈良県、川西町

5月25日『保田遊水地運用開始記念式典』を開催

～大和川では初となる内水・外水両方に対応できる遊水地の運用開始を祝います～

- ・大和川の中上流域では、内水被害が頻発することから、内水・外水の両方に対応する遊水地の整備を進めてきました。この度、正式に運用開始することになったため、『保田遊水地運用開始記念式典』を開催します。
- ・保田遊水地については、平常時は地域活性化のため、国内初となる国際規格に沿ったオーバルトラックとしても活用されます。

■保田遊水地運用開始記念式典

- 開催日時：令和7年5月25日（日） 14時～15時（13時 受付開始）
 - 場所：大和川 保田遊水地内（奈良県磯城郡川西町大字保田377の1）
 - 主催：国土交通省 近畿地方整備局、奈良県、川西町
 - 出席者：国会議員、行政関係者等
 - 内容：
 - ・挨拶
 - ・事業経過報告
 - ・地元自治会長、ワールスケートジャパンによる期待のメッセージ
 - ・保田遊水地運用開始テープカット
- ※式典終了後、川西町主催でベンチ寄付の贈呈式および
インラインスケート デモンストレーション走行会を実施します。

※報道取材については、事前申し込み制とします。取材を希望される方は【別紙1】をご確認頂き
お申し込み下さい。

※天候によっては、中止となる場合があります。中止の判断は5月23日（金）15時とし、中止の場
合は下記のHPで連絡させていただきます。

<大和川河川事務所HP> <https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.html>

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所
副所長 後藤 彦幸（内線:204）
流域治水課長 中 友太郎（内線:351）
電話 072-971-1381（代表）

<保田遊水地の上面利用に関する問い合わせ先>

川西町役場 総合政策課
課長 喜多 勲
電話 0745-44-2213

○取材のご案内・お願い

- ・ 取材は事前申込が必要です。当日、会場では記者席を設けています。
- ・ 会場内での取材にあたり、記者およびカメラマンの方は自社腕章の着用をお願いします。
- ・ 取材に必要な電源は各社各自で準備ください。
- ・ カメラ撮影等は指定の範囲内で、議事の進行の妨げとならないように後ろからの撮影をお願い致します。（撮影範囲については、式典当日に受付にて資料配布させていただきます。）
- ・ 当日取材の事前申込は、以下のとおりメールにてお願いします。

＜取材申込方法＞

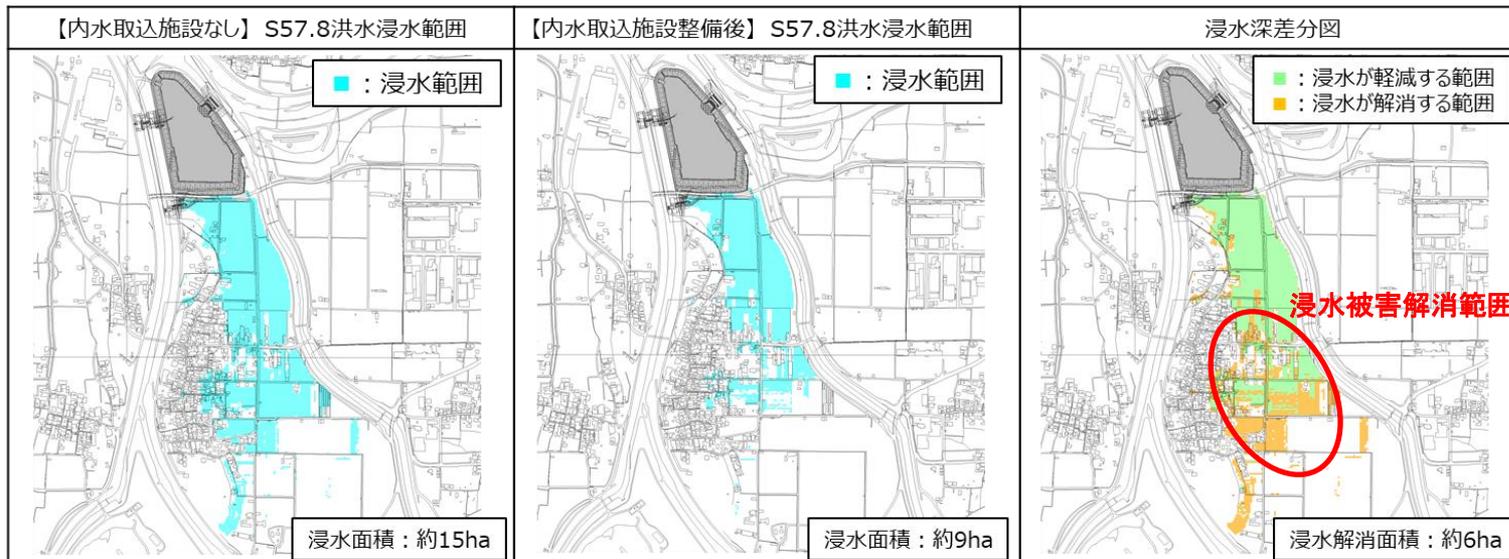
- ・ 件名を「保田遊水地運用開始記念式典の傍聴について」とし、
①会社名 ②担当者氏名 ③人数 ④全員の氏名 ⑤電話番号
を本文に記載の上、以下のメールアドレスまでご送付ください。
申し込みアドレス：kkk-yamatoga@gxb.mlit.go.jp
- ・ 令和7年5月21日（水）14:00（メール必着）にてお願いします。

以上

- 大和川では、大雨が降った際に一時的に水を貯留できるよう、5箇所において遊水地を計画している。
- 平成28年度に事業着手した保田遊水地について、令和7年6月より運用を開始する。
- 大和川における遊水地整備は、大和川流域水害対策計画に基づき、下流への流量低減だけでなく、整備する地域の安全に寄与する施設として、内外水対応型の遊水地として整備。



【遊水地の断面イメージ図】



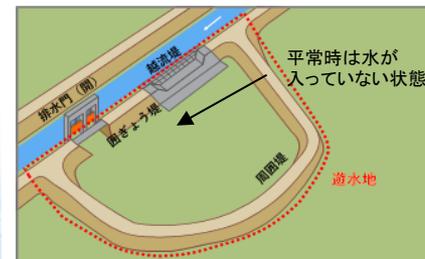
保田遊水地の効果で周辺の浸水範囲が約15haから約9haに減少



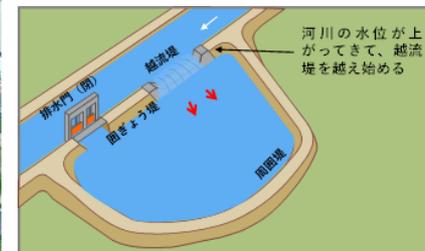
- 保田遊水地は大和川の水位が上がると越流堤から大和川の水が遊水地内に流入する仕組み。
- 大和川からの水だけでなく、保田川の水も内水取込樋門から取り込める構造となっている。
- 洪水時には遊水地に水が貯まるものの、平常時は巨大なコンクリート張りの広場であることから、川西町がローラースポーツの競技連盟であるワールドスケートジャパンおよび奈良県ローラースポーツ連盟と協定を結び、日本初の国際規格に準拠したオーバルトラックを核とした施設として活用されます。（参考資料参照）



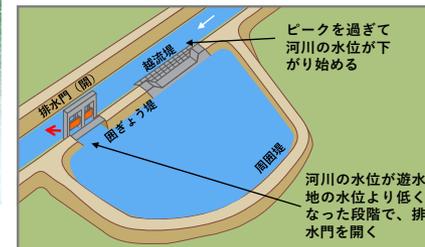
平常時



降雨時



降雨後



12/16(月) 奈良県川西町がローラースポーツの競技連盟と衆議院会館にて連携協定締結 日本初、国際規格準拠の競技用トラックが令和7年に誕生 －遊水地を活用した競技の発展と唯一無二の地方創生実現に向けた取組み－

奈良県川西町と一般社団法人ワールドスケートジャパンは、国土交通省が整備を進める川西町内の保田遊水地に、日本初の国際規格に準拠したスピードスケート競技(インライン)用オーバルトラック*を整備し、活用するため、連携協定を締結いたします。*楕円形のトラック



オーバルトラック完成予想図。町内外の方々が集う大規模公園のような場にもなります。

インラインスピードスケートで世界を目指すアスリートの育成拠点・国際大会出場の選考会会場として活用し、競技の発展に寄与します。

奈良県川西町(2024年11月時点人口7,992人)は、農村田園地域、住宅地、工業団地等の多様なエリアがあり、「住む」にも「働く」にも適したまちですが、人口は減少傾向にあり、地方創生が大きな課題となっています。町内や近隣には大学や企業が少なく、20代を中心に進学や就職を機として大阪や東京圏へ転出する傾向があることから、**奈良県内や大阪で働く20～40代の子育て世帯の転入・定住促進や関係人口創出等による施策を進めています。**

保田遊水地は、洪水時に大和川流域の浸水被害を軽減する重要な役割を担いますが、同時に、約6km²という限られた面積の川西町にとって、地方創生を推進する貴重な資源でもあります。そのため、底面がコンクリートで覆われているという施設の特性と、インラインスピードスケートが東京2020オリンピックの際に最終選考まで残るなど注目度の高い競技である点に着目し、競技大会に対応する日本初の国際規格に準拠したオーバルトラックを核とした施設として遊水地の上面を整備します。当施設は、全国大会や国際大会出場の選考会も行われる予定であり、世界を目指すアスリートの育成拠点として期待されています。また、オーバルトラックだけでなく、**一般利用者にとっては、ローラースポーツや3x3バスケットボールなど多様な活動を楽しめ、町内外の方々が集う大規模公園のような場にもなります。**

協定式では施設の概要やスピードスケート競技の動向をご紹介するとともに、連携協定の締結式を行います。大変お忙しいとは存じますが、この件につきましてご取材いただき、報道のお力でより多くの皆さまへ届けられることができれば幸いです。

協定式概要

- (1) 日時：令和6年12月16日(月) 午後3時～
 - (2) 場所：衆議院第1会館B1第3会議室(東京都千代田区永田町1丁目7番1号)
 - (3) 内容：施設概要、インラインスピードスケート競技の動向等の紹介、協定の締結等
 - (4) 出席者：奈良県川西町長 小澤晃広／ワールドスケートジャパン会長 平沢勝栄氏、役員、スピード競技の選手／奈良県ローラースポーツ連盟*会長 西口信悟氏
*ワールドスケートジャパンの都道府県連盟
 - (5) 協定の名称と目的：保田遊水地上部利用連携協定書／施設整備・活用に関し、連携・協力することにより、ローラースポーツの普及振興を図り、川西町のスポーツ文化の振興と地域活性化の促進に寄与する。
- ※当日ご取材にお越しいただける場合は、12月13日(金)までに下記【お問合せ先】にご連絡ください。

【お問合わせ先】 川西町総合政策課 喜多・片岡

〒636-0202 奈良県磯城郡川西町結崎28-1 TEL：0745-44-2213

メール seisaku@town.nara-kawanishi.lg.jp

ホームページ <https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/>

